

建築研究所ニュース



令和4年9月7日

開発途上国 11 カ国 18 名の研究者や技術者が、今期の地震工学通年研修（1年間）を修了します。全員が修士号取得予定です。

国立研究開発法人建築研究所では、開発途上国の若手研究者や技術者を対象とした地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」を、約 60 年に渡り実施してきております。今期も、（独）国際協力機構及び政策研究大学院大学と連携して進めて参りました。本研修の内容は極めて高度で専門的なものであり、受講及び研究論文の提出を条件に、修了後には防災政策学修士号の取得が可能になっています。

令和 3 年 10 月に開始した今回の研修では、当初、研修生は母国からの参加でしたが、研修開始後に来日が可能になった国々の研修生は、途中で日本に来て研修に参加しました。最終的には、2 名の研修生が母国に留まったままでしたが、遠隔講義と遠隔指導を導入した研修を受けることで、参加者全員が研修を完了し、修士号を取得することができました。

閉講式には、この研修に参加した 11 カ国 18 名の研修生が出席します。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という極めて困難な状況にあっても最後まで研修をやり遂げた研修生各人の熱意と努力に、大いに敬意を表します。

<参考：第62回国際地震工学研修閉講式の日程等>

日時：令和4年9月13日（火）11:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所 2階講堂（つくば市立原1）

方法：リアル参加とオンライン参加の併用

研修修了生の出身国と人数（単位：人）：

アルジェリア(1)、バングラディッシュ(1)、ブータン(1)、
エルサルバドル(2)、フィジー(1)、ガーナ(1)、インドネシア(6)、
ペルー(1)、フィリピン(1)、東ティモール(1)、トンガ(2)

※ 現地取材はお問い合わせ下さい。

<その他の情報は、<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>を参照のこと>

（問合せ先）

国立研究開発法人建築研究所
所属等 国際地震工学センター管理室長
氏名 山田高広
電話 029-879-0678(直通)
E-mail yamada@kenken.go.jp

裏面



筑波山にて測定実習
(2022/3/23)
写真撮影時以外はマスク着用



東北研修旅行 荒浜小学校
(2022/4/19)
写真撮影時以外はマスク着用



最終発表会 (2022/8/4)
マスク着用で聴講



最終発表会 (2022/8/5)
自国よりオンライン経由で発表



関西研修旅行 人と防災未来センター
(2022/8/24)
阪神淡路大震災など体験学習



群馬研修旅行 ハッ場ダムの様子
(2022/8/30)
講師は国土交通省関東地方整備局職員